

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大牟田市			代表者名	市長 関 好孝
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画総務部デジタル行政推進室	連絡先電話番号	0944-41-2511
担当者役職	一般職	担当者氏名	古賀 順平	連絡先E-mail	
住所	836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名（予定）	生成AIの導入・活用事業
概要	本市が中心市となっている有明圏域定住自立圏（大牟田市、柳川市、みやま市、荒尾市、南関町、長洲町）の業務効率化部会において、圏域自治体の職員を対象とした研修会の講師派遣をお願いしたい。		
支援を求める分野	生成AI活用		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	269	令和6年11月18日	講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年9月27日	事前打合せ(オンライン)	14時00分	16時00分	
			活動時間（分）	120	
2-2. 派遣場所	会場名	大牟田市役所北別館4階第1会議室		最寄駅	大牟田駅
	所在地	福岡県大牟田市有明町2-3		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今回は、有明圏域定住自立圏を対象とした「生成AIの研修会」を開催した。研修会では、まず座学にて、生成AIの活用方法やガイドラインの作成方法などのアドバイスをいただいた。後半はワークショップ形式で、実際に生成AIサービスを利用しながら、文書の要約やアイデア出しなどに活用できるプロンプトの基本を学んだ。全体を通して、実務で活用できる内容が取り入れられているとともに、自治体職員としての活用方法をお話し頂いたことで、生成AIを実務で利用するイメージがわき、非常に有意義な研修会となった。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	19人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	19			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的に記入下さい）	有明圏域定住自立圏の各自治体において、生成AIの導入が一部の自治体でしか広がっていないことや、各自治体での生成AIの庁内旗振り役となる職員の育成が課題となっている。
支援により目指す成果（具体的に記入下さい）	生成AIへの理解を深める、生成AIの導入に向けた検討の加速、生成AI導入後の活用場面の拡大。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・座学：生成AIの基本や使用する上での注意点、自治体における活用事例の紹介、ガイドライン作成のポイントなど ・ワークショップ：文書要約、アイデア出し、イベントのキャッチコピーと内容の検討など 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・生成AIは便利なツールであるが、使い次第ではファクトチェックに時間を要し、かえって手間がかかるケースもあることを学ぶことが出来た。 ・自治体における生成AIの活用事例を学ぶことができ、文書校正やアイデア出しなど様々な場面の業務効率化できることを学ぶことが出来た。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>別添をご参照ください。(11月20日時点の回答)</p>	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
	圏域の各自治体において検討する。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	各自治体で生成AIの導入が広がり、書類作成やアイデア出しなど様々な場面において、職員が生成AIを活用できる状態を目指す。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

